

中心市街地活性化プラットフォーム キックオフシンポジウム

「まちなか再生の担い手とその可能性」

川西市の中心市街地活性化 外部人材の貢献と課題

令和6(2024)年12月2日

川西市副市長 松木 茂弘

川西都市開発株式会社 代表取締役社長

一般財団法人川西市まちづくり公社 理事長

兵庫県川西市

中心市街地活性化基本計画

【3期計画:令和2年4月～令和7年3月】

- ・中世～:清和源氏発祥の地として源氏発展の基礎を築き、ゆかりの寺社を抱える。
- ・昭和40年代～:交通便利性を活かした大阪のベッドタウンとして発展。
- ・人口158,873人(H31年1月住民基本台帳)、面積53.44km²

【前期計画(平成27年4月～令和2年3月)の概要】

○キセラ川西地区の整備により、まちに新たなにぎわいが生まれた結果、来街者の平均滞留時間や人口の社会増減は増加した。

○一方で川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区をつなぐエリアに魅力的な店舗が生れなかったことや、回遊させるためのイベントのマンネリ化などで回遊ルートが構築できず、歩行者・自転車通行量が減少し、にぎわいが限定的なものになった。

【中心市街地の課題等】

○全体の回遊性を向上させ、恒常的なにぎわいを創出する

官民が連携して回遊ルートを構築することで、川西能勢口駅前周辺とキセラ川西地区のみに滞在している来街者をエリア全体に広げ、恒常的なにぎわいを創出することが必要である。

○魅力的な店や活躍する人を増やし、経済活力を向上させる

市民、起業家、地元商業者が活躍しやすい環境づくりを行い、連携体制を構築することで、市内在住者及び市外からの来街者の消費の確保を図ることが必要である。

【目指す中心市街地の都市像】

このまちに暮らす人、訪れる人 みんなを結び いきいきわくわくできるまち

恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する

【主要事業】

- ・グリーンスローモビリティ導入事業
- ・都市計画道路豊川橋山手線整備事業
- ・シェアサイクル導入事業
- ・中心市街地案内サイン板整備事業

など

【前期計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値	最新値 ※()は目標値の達成見込
多彩な活動や交流が広がる中心市街地の創造	歩行者・自転車通行量 (休日)	67,830人 (H26)	71,727人 (H31)	66,026人 (H30)
	来街者の平均滞留時間	2.04時間 (H26)	2.42時間 (H31)	2.77時間 (H30)
暮らしとなる魅力的な中心市街地の創造	人口の社会増減	4人/年 (H21～H24 平均)	106人/年 (H27～H31 平均)	126人 (H27～H30 平均)

【新計画目標】

目 標	目標指標	基準値	目標値
恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する	歩行者・自転車通行量 (休日)	44,177人(6地点) (H30)	46,547人 (R6)
	中心市街地の居住人口 の社会増	126人 (H27～H30平均)	194人 (R2～R6平均)
魅力ある場所や活躍する人が生まれるまちを創造する	新規起業家数	4人 (H28～H30)	22人 (R6)
	新規出店数	5店 (H28～H30)	23店 (R6)

魅力ある場所や活躍する人が生まれるまちを創造する

【主要事業】

- ・コワーキングスペース運営支援事業
- ・ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業
- ・中心市街地空き店舗出店支援事業
- ・まちのプレイヤー発掘事業

など

川西市中心市街地活性化基本計画の事業概要

恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する

①グリーンスローモビリティ導入事業

川西能勢口駅東側から、豊川橋山手線を通り、前期計画で整備したキセラ川西プラザ、キセラ川西せせらぎ公園、キセラ川西地区に整備予定の新病院を結ぶルートで運行することで、回遊性の向上を図る。

②都市計画道路豊川橋山手線整備事業

キセラ川西地区から絹延橋を結ぶ道路及び歩道の拡幅に合わせ、踏切拡幅することで、通行の安全確保とキセラ川西地区へのアクセス向上を図る。

③シェアサイクル導入事業

川西能勢口駅周辺からキセラ川西地区における手軽に使用できる交通手段としてシェアサイクルを導入することで川西能勢口駅前からキセラ川西地区へのアクセスの向上を図る。

④中心市街地案内サイン板整備事業

川西能勢口駅前、キセラ川西地区、その2点を繋ぐエリアに、デザインルールにより統一された案内サイン板を設置することで中心市街地の回遊性の向上を図る。

魅力ある場所や、活躍する人が生まれるまちを創造する

⑤コワーキングスペース運営支援事業

起業をめざしている者や既に起業している者などが集まることができる場の運営を支援することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出する。

⑥ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業

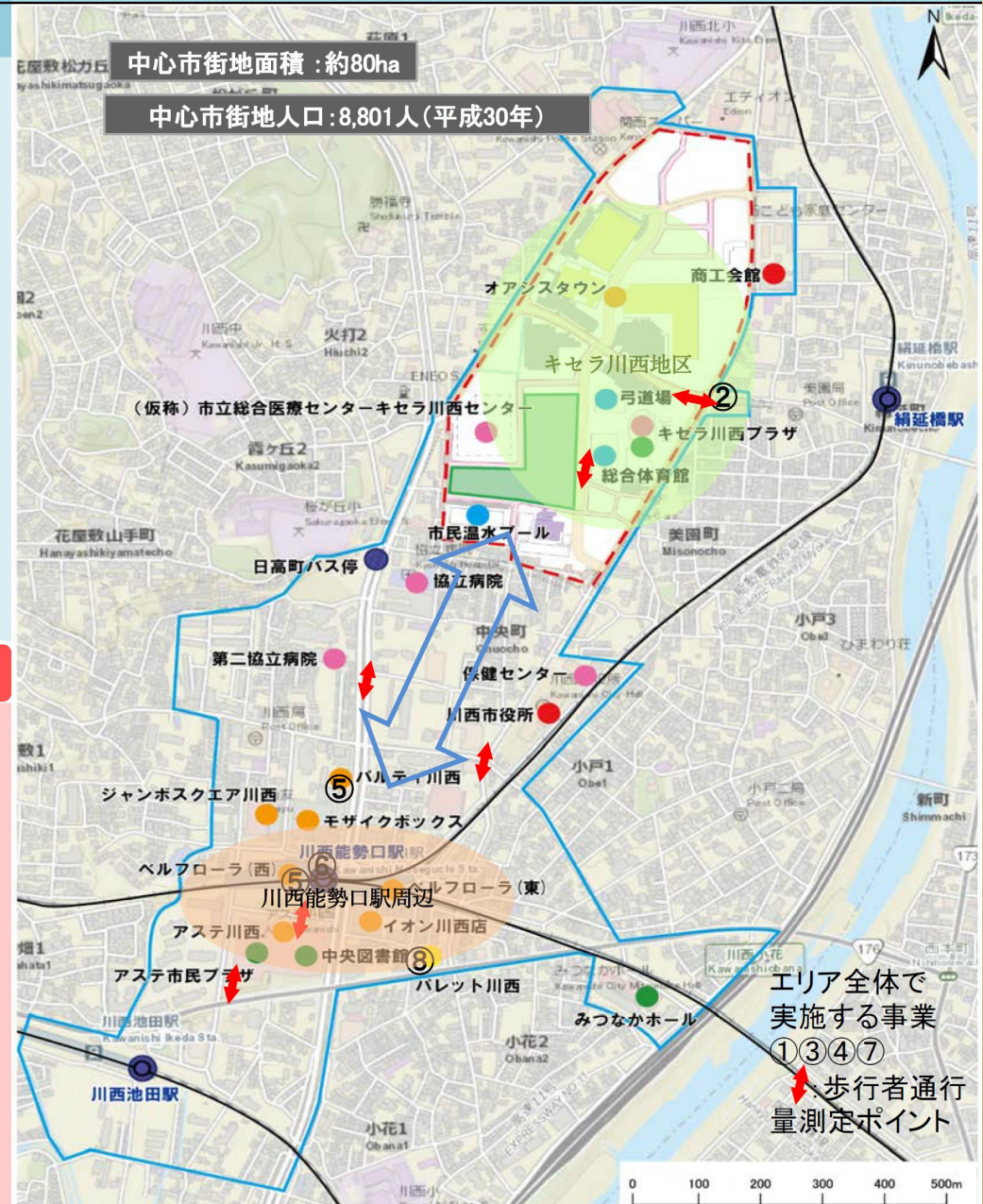
川西能勢口駅と駅前商業施設をつなぐ道路空間で道路管理者と連携し、にぎわいイベントを実施することで、周辺施設への集客や来街者の増加を図る。

⑦中心市街地空き店舗出店支援事業

中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。

⑧まちのプレイヤー発掘事業

タウンマネージャーが中心となり、まちの使い方や活性化をテーマに交流し、まちで活躍するプレイヤーを発掘することで、相乗的なまちのにぎわいを創出する。



年度		TM (タウンマネージャー)	
H26	2014	小川 冬木	
H27	2015	小川 冬木	
H28	2016	小川 冬木	
H29	2017	小川 冬木	
H30	2018	東 茂泰	
R1	2019	東 茂泰	九鬼 麻衣
R2	2020	東 茂泰	九鬼 麻衣
R3	2021	東 茂泰	九鬼 麻衣
R4	2022	九鬼 麻衣	向井 務
R5	2023	九鬼 麻衣	
R6	2024	九鬼 麻衣	

(敬称略)

R6年度におけるTMの取り組み

(1) 中心市街地活性化協議会関係会議への出席と資料作成支援

(2) まちなかウォッチャー

- ・住民・来街者ワークショップによるまちなか指針の検討

(3) 中心市街地活性化事業の推進

(4) 中心市街地活性化活動拠点「マチノマ」の場づくり

- ・夜間開設

(5) 公共的空間活用による、エリア価値向上にぎわい創出事業

- ・藤ノ木さんかく広場

(企業向けの利用促進)

- ・ペDESTリアンデッキ

(滞留性向上・他団体の活動支援)

- ・市役所南広場

- ・キセラ川西エリアの活用

(6) にぎわい連携事業

- ・「清和源氏まつり」と連携したイベントの実行委員会への参加

- ・「はたちのつどい」と連携したにぎわいイベント開催に関する支援

- ・商業施設・商業者との連携

(市制70周年プロジェクトとの連携・川西バルとの連携)

(7) 情報発信事業

(8) 協議と提言

●外部人材の貢献

- 自由な発想による柔軟な取り組み
- 多職種との連携と協働
- 新しい発見と実験場の活用

●課題

- 持続可能な取り組み
 - ⇒ 活動財源の確保
 - ※公的資金からの脱却
 - ※自立への挑戦
 - ⇒ 人材の確保
 - ※連携からの人材発掘